



Title	Gallia 62号 報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2023, 62, p. 118-120
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/91104
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

報 告

講義題目 (2022 年度)

- 山上 浩嗣 教 授 (演) パスカル『パンセ』を読む (共通)
 (演) デイドロ『サロン』を読む (学部・修士)
 (講) モンテーニュ『エッセー』入門 (春・夏学期)
 (演) 18 世紀フランス文学作品原文講読 (春・夏学期)
- Éric Avocat 特任准教授 (講) Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines (修士)
 (演) L'histoire de France dans le cinéma français (春・夏学期) (学部・修士)
 (演) French society and its transformations through the French movies' looking glass since 1945 (秋・冬学期) (学部・修士)
 (演) Étude d'une œuvre littéraire : Edmond Rostand, *Cyrano de Bergerac* (春・夏学期) (大学院)
 (講) Les Voyages extraordinaires de Jules Verne : le tour du monde en 80 livres (秋・冬学期) (大学院)
 (演) Préparation des examens de langue française DELF-DALF (春・夏学期) (学部・修士)
 (演) Exercices pratiques de langue française (秋・冬学期) (学部・修士)
- 渡辺貴規子 准教授 (講) フランス児童文学序説・フランス児童文学作品講読 (秋・冬学期) (共通)
- 平光 文乃 助 教 (演) プルースト『失われた時を求めて』におけるヴェネツィア滞在の場面を読む (共通)

卒業論文 (2021 年度)

- ・ モーパッサン『脂肪の塊』における食欲の描かれ方 安 東 菜々子
- ・ ボードレール『パリの憂鬱』における理想の地 久 間 章 寛
- ・ ラテン語とフランス語の動詞組織に関する比較言語学的考察—新約聖書『マタイによる福音書』をもとに— 前 野 淳 也

修士論文（2021 年度）

- ・ Étude génétique des *Pensées* de Pascal : conception des Copies et caractéristiques de la Première Copie

小 林 愛 斗

- ・ Le trait caractéristique du rire dans les romans de Flaubert ; L'image des rires dans *L'Éducation sentimentale*

岩 尾 航 介

- ・ La religion de Mallarmé : croire en « Soi »

安 部 綾 乃

- ・ La fonction des barrières dans *Carmen*

戸 田 千 晶

日本フランス語フランス文学会研究発表

2022 年 6 月 4 日（土）・6 月 5 日（日）（全国春季大会、立教大学）

- ・ 日本の学生が選ぶゴンクール賞—総括と展望 / 関東地区グループを中心に
（ワークショップ企画）

小 川 美登里

- ・ 日本の学生が選ぶゴンクール賞—総括と展望 / 中部地区グループを中心に
（ワークショップ企画）

加 藤 靖 恵

- ・ レ枢機卿の自己表象—マザリナードと『メモワール』を比較して

涌 井 萌 子

- ・ 単数にして複数なるものたちの系譜—ボンジュのマレルブ論について

太 田 晋 介

2022 年 10 月 22 日（土）・23 日（日）（全国秋季大会、大阪大学）

- ・ Enseigner (par) la littérature dans les cours de français à l'université
（ワークショップ企画主催者）

Éric Avocat

- ・ もう一つの啓蒙の詩学, もう一つの詩の現代性—電気を語るボンジュ

太 田 晋 介

2022 年 11 月 26 日（土）（関西支部大会、関西大学）

- ・ ドーノワ夫人の *Serpentin Vert* における蛇身の表象

中 島 姫 奈

- ・ジョルジュ・サンド『黒い町』における上昇志向

堤 崎 暁

- ・挿絵画家ラファエリと自然主義作家たち——『パリの人々』(1889)をめぐる

安 達 孝 信

- ・ボリス・ヴィアン『日々の泡』における「死」

丸 山 智 大

- ・ミラン・クンデラ『存在の耐えられない軽さ』における心と身体の二重性

菅 野 梨 夏

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第 89 回研究会 9 月 24 日（土）（於大阪大学文学部 2 階大会議室）

- ・『カルメン』における *barrière* について

戸 田 千 晶

司会：渡 辺 貴規子

- ・物語テキストの主体についての一考察

栗 原 唯

司会：高 橋 克 欣

- ・L'articulation présentiel / distancié dans un projet de simulation globale hybride

Sébastien Delbes

司会：Jean-Noël Polet

第 90 回研究会 2023 年 3 月 4 日（土）（於大阪大学文学部 2 階大会議室）

- ・ロンサールの『恋愛詩集』1552 年版と 1553 年版について

—人文情報学的なアプローチを交えて—

岩 根 久

司会：林 千 宏

- ・『失われた時を求めて』におけるオペラ風景

和 田 章 男

司会：平 光 文 乃

総合司会：山 上 浩 嗣